

湯島聖堂(仰高門・入徳門)

松浦弘二が松浦愛一郎(父)、松浦一(兄)と共に建立に当たった門である



仰高門(ぎょうもん)

仰高とは、「論語」子罕第九「顔淵喟然歎曰、仰之彌高、誦之彌堅い。」による



入徳門(にゅうとくもん)

入徳とは、朱熹の「大学章句序」「子程子曰、大学、孔子之遺書而初学入徳之門也。」による。聖堂内、唯一の木造建築物。

※インターネットより引用させていただきました

仰高門(昭和10年再建)/RC造



大林組の下請けで松井組が請負い、松浦愛一郎・一・弘二の三人が担当したという(松浦一が工事主任であり、初めてのRC造の建物であった)
聖堂の敷地内に仮設小屋を造って寝泊まりし再建に尽力したという

仰高門



仰高門



仰高門



仰高門



仰高門



仰高門



仰高門



仰高門



仰高門



仰高門



仰高門



仰高門



仰高門



仰高門



仰高門 遠景



入徳門(1704年建立)/木造



昭和9年に大林組の下請けで松井組(工事担当は松浦愛一郎)が改修した(木造)

入徳門



入徳門



平成5年に大林組によりリニューアルされている

入徳門



入徳門



入徳門



入徳門



入徳門



入徳門 遠景



水屋(木造)



関東大震災ではこの水屋と入徳門が焼け残った
(この水屋の改修も松浦愛一郎・一・弘二の三人が携わったという)

土塀も三人が携わったという

